

響けこの歌声 響け遠くまでも あの空の彼方へも



グランツたけた廉太郎企画

仙台フィルハーモニー 管弦楽団コンサート

～ ひびけ 歌声とともに ～

2019年

2月24日



開場 14:30

開演 15:00

竹田市総合文化ホール グランツたけた 廉太郎ホール

入場料(全席指定/消費税込)：一般 2,000円、高校生以下 1,000円 ※宝くじの助成により特別料金になっています。

チケット発売：2018年12月9日(日)10:00

チケット取扱い：グランツたけた、トキハ会館プレイガイド(大分市)、ローソンチケット、LivePocket(ライブポケット)

主催：竹田市総合文化ホール グランツたけた(竹田市) 特別協力：仙台市



GLANZ TAKETA
グランツたけた
オープニングフェスタ

PROGRAM

- 【第一部】 混声合唱とオーケストラによる「群青」 共演：グランツ合唱塾
作詞：福島県南相馬市立小高小学校平成24年度卒業生(構成：小田 美樹) / 作曲：小田 美樹 / 編曲：信長 貴富
- 混声合唱とオーケストラによる「荒城の月」 共演：グランツ合唱塾
作詞：土井 晩翠 / 作曲：瀧 廉太郎 / 編曲：信長 貴富 ※編曲委嘱初演
- ミュージカル「橋を架けよう」 共演：グランツ演劇塾
作詞：石塚 克彦 / 構成・作曲・演出：寺本 建雄 / オーケストレーション：川崎美香
- 【第二部】 ドヴォルザーク 交響曲第9番 ホ短調 作品95『新世界より』
Antonín Dvořák; Symphony No.9 in E minor "From the new world"



指揮：山下一史
© ai ueda

出前コンサート

入場無料

【荻】荻福祉健康エリア 多目的ホール(弦楽アンサンブル)

2月23日(土)12:00～ 竹田市内3会場にて

【久住】くじゅうサンホール(木管アンサンブル) 【直入】直入公民館ホール(弦楽アンサンブル)

音楽姉妹都市・仙台市から \ オークストラ / がやって来る!

瀧廉太郎が生んだ名曲「荒城の月」の作詞をした詩人・土井晩翠の故郷である仙台市と竹田市は、昭和42(1967)年1月18日に「音楽姉妹都市」として協定を締結し、50年を超えて友好を深めて来ました。

このご縁で、平成24年の九州北部豪雨以来6年ぶりに復興を遂げた竹田市総合文化ホール(グランツたけた)に、音楽姉妹都市・仙台市から、仙台フィルハーモニー管弦楽団、総勢70名がお祝いの演奏に駆けつけてくださいます!“復興”と“友好”をテーマに、選ばれた曲は、ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」、グランツのオープニングにふさわしい新たな幕開けを感じさせる曲です。加えて市民参加による合唱曲2曲とミュージカルが披露されます。

公演前日には、荻、久住、直入で仙台フィルメンバーによる「出前コンサート」を開催します。【入場無料】



第1部 市民がプロのオーケストラと共演するなんてスゴイ!

グランツのオープンを記念して、竹田の芸術文化を共に盛り上げようと竹田市内外から集ったメンバーからなる「グランツ合唱塾」と「グランツ演劇塾」。

合唱塾が取り組む「群青」は東日本大震災当時、中学生だった子どもたちが綴った言葉に教師が曲をつけて歌ったところ話題となり、現在では国内外で歌われるようになった復興ソングです。「群青」の編曲を手掛けた信長貴富は現代合唱界で人気ナンバーワンの作曲家。その信長が、今回の演奏会のため新たに瀧廉太郎の名曲「荒城の月」をオーケストラと混声合唱にアレンジし、グランツ合唱塾メンバーが初演します。演劇塾が取り組む「橋を架けよう」は、竹田をテーマに再構成されたミニミュージカル。太古の昔より人々は川のほとりに暮らしてきました。時に川があふれ地域に被害をもたらすけど、復興願う人々が心を一つに「力を合わせて橋を架けなおす」物語です。大人から子どもまで練習を重ね、同じ時間を共有し本番のステージを目指して取り組んでいます。

仙台フィルハーモニー管弦楽団

1973年に「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ常任指揮者のもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2018年度に飯守泰次郎が常任指揮者に就任、さらに音楽的深化を推し進めている。2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届けながら絆をつなぐ活動を行った。現在、日立システムズホール仙台コンサートホールでの「定期演奏会」のほか「仙台国際音楽コンクール」「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれ、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。

指揮 山下一史

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年12月からカラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントを務め、ベルリン・フィル公演で急病のカラヤンの代役としてジーンズ姿のまま「第九」を指揮し話題となる。以降、着実に国内外での実績を重ね、これまでにヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)首席客演指揮者、九州交響楽団常任指揮者などを歴任。2006年からは仙台フィルハーモニー管弦楽団より指揮者として迎えられ、2009年から2012年3月まで同団の正指揮者を務め、楽団の一層の発展に力を注いだ。2016年4月より千葉交響楽団音楽監督に就任、東京藝術大学音楽学部指揮科教授。

参加者募集中!! 詳しくは「グランツたけた」までお問い合わせください。

第2部 誰もが楽しめる! ワクワク感いっぱいの「新世界より」



「この国の未来の音楽は、いわゆる黒人の旋律を基礎とすべきだと、今私は考えるに至った。」1893年5月21日付の『ニューヨーク・ヘラルド』紙において、ドヴォルザークはこのように述べています。1841年チェコに生まれたドヴォルザークは、1892年~1895年まで、ニューヨークにあるナショナル・コンサーヴァトリー・オブ・ミュージック・オブ・アメリカの院長の職にあり、「新世界より」は、アメリカ(新世界)から故郷ボヘミアに向けた作品と言われています。第二楽章にイングリッシュホルンで奏でられる「家路」のメロディは、「遠き山に日は落ちて…」の歌詞でご存知の方も多いでしょう。

黒人霊歌を思い起こさせる旋律がこの作品の随所で使われており、その音色はどこかボヘミアの音楽にも似ています。

第四楽章は、映画やテレビコマーシャル等で、誰もが聴き覚えのある“あの”フレーズが重なり、壮大なクライマックスへと向かう瞬間は誰もがワクワクすることでしょう。

仙台フィルの十八番ともいえるこの作品を、山下一史の指揮で、復興を遂げた竹田市総合文化ホール(グランツたけた) 廉太郎ホールで聴く、なんとという贅沢な瞬間。この千載一遇のチャンスを見逃す手はありませんぞ!

チケット発売 12月9日(日) 10:00~

グランツたけた *発売当日は8:30より整理券を配布します。
平日9:00-17:00(発売日12月9日のみ10:00から)

窓口で!

TEL.0974-63-4837
窓口でのチケット購入は1回の購入で一人様4枚までです。

トキハ会館プレイガイド(大分市) / 2月19日(火)まで
営業時間10:00~19:00 TEL.097-538-3111

ローソンチケット / 2月21日(木)まで

コンビニで!

Lコード:82054

Lコード予約(24時間自動受付、発売初日のみ午前10時より) TEL.0570-084-008
https://l-tike.com

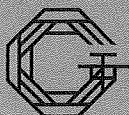
ライブポケット / 2月21日(木)まで

ネットで!

24時間(発売日のみ午前10時から) 専用ページ https://t.livepocket.jp/e/senphil

※高校生以下チケットは公演当日、学生証が必要です。※未就学児はご入場いただけません。

※車いす席をご希望の方はお電話にてお問い合わせください。※購入後のチケット変更・キャンセル、および営利目的のチケットの転売は出来ません。



GLANZ TAKETA

竹田市総合文化ホール
グランツたけた

〒878-0024 大分県竹田市玉来1-1

TEL:0974-63-4837 FAX:0974-63-2211

http://www.taketa-city.com/glanz/

アクセス

JR豊後竹田駅から徒歩20分、タクシー5分。

グランツたけた駐車場(200台)、河川敷(150台)ほか周辺の駐車場をご利用ください。

※駐車場に限りがございますので、なるべく乗り合わせてご来場をお願いします。

